

カインズ 2019 年度入社式 社長祝辞

株式会社カインズ（本社：埼玉県本庄市、代表取締役社長：高家正行）は、4月1日付で237名の新入社員を迎え、2019年度入社式を行いました。社長メッセージ（要旨抜粋）は下記のとおりです。

記

皆さん、入社おめでとうございます。237名の新たな仲間をカインズに迎えられて、非常に嬉しく思います。本日、新元号「令和」が発表され、新たな時代を迎えることとなりました。時代にもおいても、皆さん自身においても大きな一歩となる日です。「令和」の意味は、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」ということだそうです。新たにカインズのメンバーになられた皆さんが、心を寄せ合い、カインドネスな文化を育てていく、そういう役割を担ってくれることを期待しています。

今年は、カインズにとっても大きな節目となる、転換の年です。カインズは平成元年（1989年）3月1日に前身の「いせや」から分離独立し、創立30周年を迎えました。カインズは平成と共に成長し、令和と共に新たなスタートを切ると言えます。

カインズの長い歴史における1つ目の大きな挑戦は、昭和53年（1978年）、「いせや」時代にありました。当時ホームセンターという業態がなかった日本において、「いせやホームセンター」1号店を立ち上げました。しかも、それは住設資材関連に絞ったアメリカのホームセンターとは異なり、生活雑貨品など幅広い商品を扱いながら、住環境を改善していく Home Improvement Center として作りあげたものでした。日本独自のホームセンター業態を「いせやホームセンター」時代につくったのです

2つ目の大きな挑戦は、SPA（製造小売り）へ大きく舵を切ったことです。現会長の土屋さんが、2007年から本格的にSPAに取り組みされました。当時のホームセンターは「仕入れて販売する」ことが中心で、法改正に伴う店舗の大型化によって、多くの商品を店頭で並べられるようになったことから、“何でも揃う”という価値を生み出していきました。お客様にとっては様々な商品を比較検討することができ、小売業にとっては店舗の大型化と大量出店で、販売量が飛躍的に増加するにつれて、販売のイニシアティブがメーカーから消費者へと移っていった時代でした。その中でカインズは、ホームセンター業界でも先駆けて、SPAという発想で、カインズにしかないオリジナル商品を数多く開発しました。しかもその商品を安い価格で提供して、お客様の暮らしを豊かにすることに貢献し、新たな価値を創造してきました。今や国内のグッドデザイン賞は7年連続、海外のデザイン賞も3年連続で受賞するまでに成長しました。

このように、「いせやホームセンター」を立ち上げた40年前から、多くの先輩たちが挑戦を続けてきました。その積み重ねから現在のカインズが成り立っているのです。

そして今、この過去2度の大きな挑戦に匹敵する3度目の大きな挑戦に取り組んでいます。

それが、中期経営計画「PROJECT KINDNESS」です。

簡潔に言うと、「IT小売業」になるということです。“何でもそろう大型店舗”という価値、“カインズにしかないオリジナル商品”という価値を創出してきたカインズが、さらに次の新たな価値を生み出そうという意味が込められています。もちろんこの先30年後も、リアル店舗が強みの会社であることに変わりはないと思いますが、その店舗の姿や形は、全く様変わりしているはずで、デジタル技術やAIをはじめとした第4次産業革命といわれる新たなテクノロジー

が、どんどん暮らしを便利で豊かに変え、お客様の購買活動も大きく変化していくのですから、カインズの店舗も新しく変化していく必要があるのです。

私が大事にしている言葉が、「自我作古（我より古をなす）」です。自分が通った後は常に古（いにしえ）になる、つまり、常に自分が新しい道を切り拓き、その後ろに道ができて、そこを世の中の人が行って行く、そのような考え方で、これは必ずしも発明家や起業家になるということではなくて常に新しい創意工夫をしていけば、物事が進化していく、という考え方です。

どうすればその目的を上手に・素早く・効率的にできるかを考えることから創意工夫が生まれます。毎日の創意工夫の積み重ねにより、10年や20年経った時、他の誰にも代わることができない価値ある役割を担えるようになります。それが「自我作古」という姿勢です。

カインズは大きな会社で、店舗運営から店舗開発、商品開発やマーチャンダイジング、デジタルマーケティングやIT、物流や品質保証など様々な部門があり、世の中にある仕事の大半がカインズにあります。皆さんにはぜひ、自分はこんな仕事に挑戦したいというものを見つけた上で、「自我作古」の姿勢で自らも進化し、自己実現してもらえたら嬉しいです。

最後に、カインズは「新たなカインズをつくる」ことに挑戦しています。それは全メンバーの手によって初めて実現するもので、今日から皆さんもそのメンバーです。一人ひとりの創意工夫から「新たなカインズ」は生まれます。これから、一緒に頑張っていきましょう。

以上